



阪神高速道路株式会社

第3期(2008年3月期)決算

2008年6月12日

Hanshin Expressway Co.,Ltd All Right Reserved.



目次

1. 経営成績

(1) 連結業績及び利益増減分析	2
(2) 主なトピックス	12
(3) 業績の見通し(連結及び個別)	19

<u>2. 参考資料</u>	22
----------------	-------	----

1. 経営成績

(1) 連結業績及び利益増減分析



当期阪神高速グループ連結決算の概況

弊社グループの第3期(2008年3月期)における連結業績は、営業収益2,135億円(対前年度比+248億円)、営業利益は35億円(対前年度比+14億円)、経常利益は38億円(対前年度比+16億円)、当期純利益は29億円(対前年度比+12億円)となりました。

なお、当期純利益の内訳は、親会社利益25億円、子会社利益4億円となりました。

(1) 高速道路事業

関西経済の動向等を反映して、交通量は、一日あたり約90万台(前年度比1.4%減)となりました。また、安全・安心・快適なネットワークを通じた「お客様満足」の実現に向け、「交通安全対策アクションプログラム」による交通事故削減及び「新渋滞対策アクションプログラム」による渋滞緩和に取り組むとともに、「15号堺線等大規模補修工事」や長大橋の耐震補強工事等を実施したほか、不正通行監視システムを活用し、不正通行対策に取り組んでおります。

さらに、距離料金への円滑な移行に向けたETC普及促進施策を引き続き実施した結果、ETC利用率は期末において74.0%(前年度比6.2ポイント増)となりました。

一方、高速道路の建設に関しましては、関西都市圏の高速道路ネットワークの整備に向け、平成20年1月には京都で初めての都市高速道路となる8号京都線(5.5km)を開通させるなど、建設中5路線等の整備促進に努めました。

この結果、営業収益は、2,082億円(対前年度比+213億円)、営業利益は、31億円(対前年度比+13億円)となりました。

(2) 受託事業

京都市道高速道路1号線及び2号線のランプ新設事業(京都市施行部分)に関する工事をはじめとして、国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設・改築・維持・修繕等を実施したことにより、営業収益は38億円(対前年度比+35億円)、営業損失は1億円(対前年度比▲1億円)となりました。

(3) その他の事業

休憩所等事業、駐車場事業、不動産賃貸事業、土木コンサルティング事業等を展開しました。
このうち、休憩所等事業は「PA改善アクションプラン」により、朝潮橋PAにおいて、改修工事を実施し、平成20年4月にリニューアルオープンしました。
この結果、営業収益は14億円(対前年度比▲1億円)、営業利益は、5億円(対前年度比+1億円)となりました。

連結業績(セグメント別)の概要

単位: 億円〔単位未満切り捨て〕

高速道路事業	営業収益	営業費用	営業利益
■ 高速道路の新設、改築、維持、修繕、災害復旧その他の管理等	(料金収入等) 1,835 (対前年度比 +5)	(道路資産賃借料) 1,399 (対前年度比 ▲6)	31 (対前年度比 +13)
	(道路資産完成高) 236 (対前年度比 +200)	(道路資産完成原価) 236 (対前年度比 +200)	
	(その他) 10 (対前年度比 +7)	(管理費用等) 413 (対前年度比 +5)	
高速道路事業 計	2,082 (対前年度比 +213)	2,050 (対前年度比 +199)	31 (対前年度比 +13)
受託事業	営業収益	営業費用	営業利益
■ 国、地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持修繕等及びその他の委託に基づく事業等	38 (対前年度比 +35)	40 (対前年度比 +37)	▲1 (対前年度比 ▲1)
その他の事業	営業収益	営業費用	営業利益
■ 駐車場施設の運営 ■ 休憩施設の運営 ■ 不動産賃貸等	14 (対前年度比 ▲1)	9 (対前年度比 ▲2)	5 (対前年度比 +1)
全事業 計	2,135 (対前年度比 +248)	2,100 (対前年度比 +233)	35 (対前年度比 +14)

セグメント別損益の状況(1) 高速道路事業

単位: 億円[単位未満切り捨て]

区 分		H18実績 【A】	H19実績 【B】	差引 【B】-【A】
営業収益	料金収入等	1,829	1,835	+5
	道路資産完成高	35	236	+200
	その他	3	10	+7
		1,868	2,082	+213
営業費用	道路資産賃借料	1,406	1,399	▲6
	道路資産完成原価	35	236	+200
	管理費用	408	413	+5
		1,850	2,050	+199
営業利益		17	31	+13

●営業収益

- ・交通量は、関西経済の動向等を反映して、一日あたり平均通行台数は約90万台(前年度比1.4%減)
- ・料金収入等は、普通車の通行台数が減少(前年度比1.5%減)したものの、大型車の通行台数が増加(前年度比2.3%増)し**1,835億円**(前年度比5億円増)
- ・ETC利用率は期末において**74.0%**(前年同期比6.2ポイント増)
- ・道路資産完成高は京都油小路線供用等により**236億円**(前年度比200億円増)

●営業費用

- ・道路資産賃借料は**6億円**の減
- ・管理費用は、子会社事業規模の拡大による管理費の増(7億円)及びコスト縮減等による減(**▲2億円**)

セグメント別損益の状況(2) 関連事業(受託事業及びその他の事業)

単位: 億円[単位未満切り捨て]

区 分		H18実績 【A】	H19実績 【B】	差引 【B】-【A】
受託事業	営業収益	2	38	+35
	営業費用	3	40	+37
	営業利益	▲0	▲1	▲1
その他の事業	営業収益	15	14	▲1
	営業費用	12	9	▲2
	営業利益	3	5	+1
関連事業 営業利益		3	3	+0

●受託事業は大規模工事が完成したため収益、費用が大幅に増加、営業損失は対前年度比1億円の増

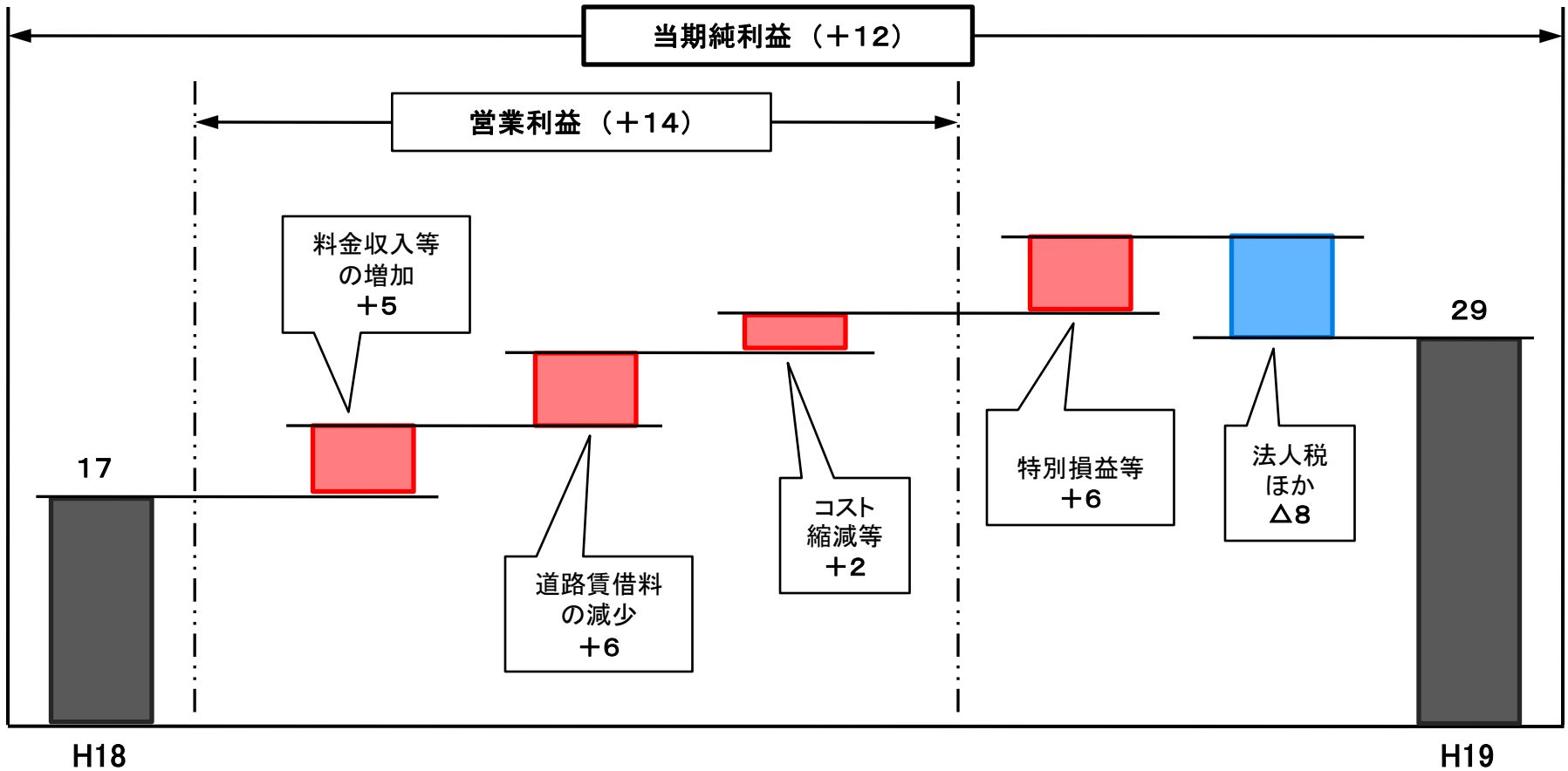
●その他の事業

休憩所施設リニューアル、駐車場施設の新規開設、不動産事業の貸付等の増収に向けて取り組むとともにコスト縮減に努めた結果、営業利益は対前年度比1億円の増



連結当期純利益増減要因

単位：億円〔単位未満切り捨て〕





連結貸借対照表の概要

【主な増減内容】

単位:億円[単位未満切捨て]

資産の部			
科目	2007.3	2008.3	増減
I. 流動資産	1,825	2,059	234
うち仕掛道路資産	1,192	1,382	190
II. 固定資産	496	505	9
III. 繰延資産	-	-	-
資産合計	2,322	2,565	243

流動資産

仕掛道路資産	+190
受託業務前払金	+13
未収入金	+35

固定資産

固定資産等取得	+75
減価償却等	▲66

負債・純資産の部			
科目	2007.3	2008.3	増減
I. 流動負債	557	580	22
II. 固定負債	1,535	1,726	191
負債合計	2,093	2,307	213
I. 株主資本	228	258	29
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	28	58	29
II. 少数株主持分	-	-	-
純資産合計	228	258	29
負債・純資産合計	2,322	2,565	243

流動負債

未払金	▲11
1年以内返済予定長期借入金	+41

固定負債

道路建設関係長期借入金	+11
道路建設関係社債	+204

利益剰余金

当期純利益	+29
-------	-----



連結キャッシュ・フロー計算書

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

区分	2007.3	2008.3
営業活動によるCF	▲ 414	▲ 173
投資活動によるCF	▲ 43	▲ 50
財務活動によるCF	446	230
現金及び現金同等物の 連結期末残高	339	346

高速道路会社のCF計算書

- 高速道路への建設投資は、高速道路会社にとって独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する「商品」のため、投資額は『営業活動CF』のマイナスに整理し、これに見合う資金は借入調達するため『財務CF』のプラスとなる。
- 高速道路が開通し機構に引き渡すと時に、道路資産完成高を『営業活動CF』のプラス、借入金の引渡額を『財務活動CF』のマイナスとする。
- 従って、高速道路への投資額が完成高を上回る2008年3月期の『営業活動CF』はマイナスとなる。



個別決算の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

経営成績		
区分	2007.3	2008.3
営業収益	1,877	2,120
営業利益	13	29
経常利益	14	32
当期純利益	12	25

財政状態			
区分	2007.3	2008.3	増減
総資産	2,306	2,542	+236
純資産	224	249	+25
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	24	49	+25
有利子負債	1,050	1,101	+50
自己資本比率	9.7%	9.8%	+0.1%

1. 経営成績

(2) 主なトピックス



主なトピックス

高速道路事業

- ・高速道路ネットワークの整備 ～8号京都線の開通～
- ・15号堺線・17号西大阪線フレッシュアップ工事の実施
- ・お客さま窓口の拡大、サービス向上
- ・ETC普及に向けた各種の取り組み など

その他の事業

- ・PA改善アクションプランの策定、実施 など



高速道路ネットワークの整備～8号京都線の開通～

8号京都線(上鳥羽～第二京阪)が平成20年1月19日に開通

※ 稲荷山トンネル(山科～鴨川東)は平成20年6月1日に開通

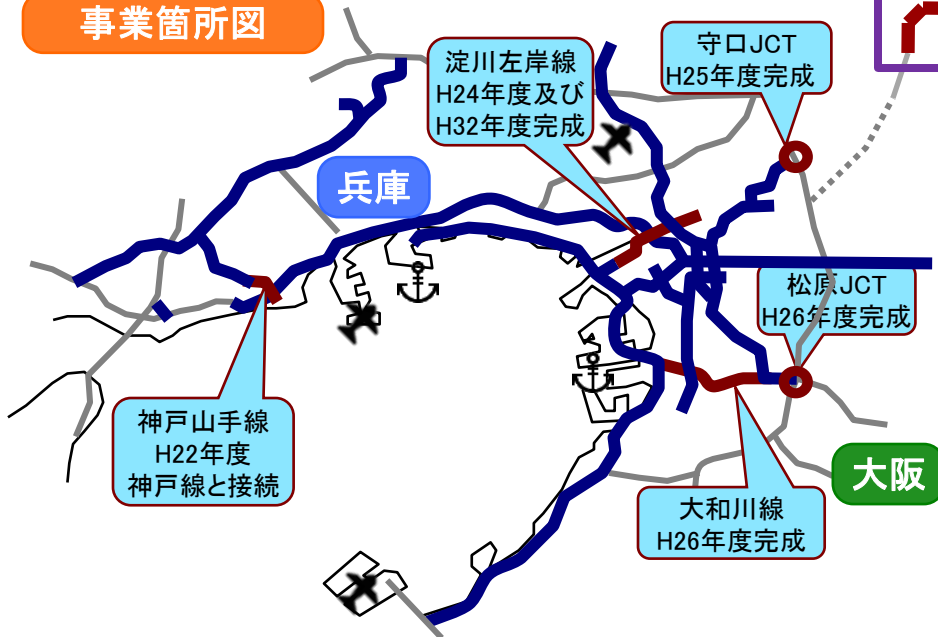
大阪地区では、

都市再生環状道路を形成する大和川線、淀川左岸線および守口ジャンクションと松原ジャンクションを事業中。

神戸地区では、

神戸山手線を神戸線に接続する事業を推進中。

事業箇所図



◆京都駅を中心とした15分到達圏域及び30分到達圏域のいずれも約1.5倍に。

◆第二京阪道路と直結することで、京滋バイパスや第二外環状道路さらには新名神高速道路などの広域幹線道路とネットワークを形成するため、近畿をはじめ日本全国とつながることになります。



15号堺線・17号西大阪線フレッシュアップ工事の実施

- 工事を集約し、工事に伴う交通への影響を軽減する工事手法として昭和48年から開始。最近は1年に1回、1路線を対象に実施。
- 平成19年度は堺線・西大阪線で実施
- 平成20年度は神戸線(摩耶～芦屋間)で実施。
- 通常8日間連続の終日通行止め。実施時期は天候、交通量を考慮して選定。





お客さま窓口の拡大、サービス向上

- ◆民営化(H17.10)と同時にETCをはじめとする当社の業務全般に関するお問合せ受付総合窓口として「阪神高速お客さまセンター」を設置。
- ◆平成19年8月から、お客さまサービスの更なる充実のためお客さまセンターの営業時間を拡大、年中無休に。

	<以 前>		<19年8月～>
○営業日:	平日のみ営業	➡	年中無休
○営業時間:	9:15～17:30	➡	8:30～19:00 (土日祝;9:00～18:00)

携帯電話向けサイト

「阪神高速はしれGO！」(<http://www.8405.jp>)では、阪神高速の交通情報を24時間無料で提供中

ETC普及に向けた各種の取り組み

◆ ETC車載器購入支援の実施

- ・ 「ETCらくつく0円キャンペーン」の実施 (H19.7.1~12.14)
- ・ 「京都線開通記念ETCイベント」の実施 (H20.1.26~2.17の土・日・祝 計8日間)



(ETCらくつく0円キャンペーン)

(京都線開通記念ETCイベント)

◆ 料金所におけるETCレーンの増設

- ・ 全料金所(137料金所・346レーン)のうち、136料金所・268レーンでETC利用が可能
- ・ このうち、終日専用運用レーンは、124料金所・163レーン



(ETC専用レーン)

◆ 料金関連施策の実施

- ・ 平日時間帯割引／土曜・休日割引
- ・ マイレージサービス、多頻度割引 等



(料金関連施策)

◆ ETC普及促進のための広報の実施

- ・ 6高速道路会社共通広報の実施



(6高速道路会社共通広報)

PA改善アクションプランの策定、実施

「阪神高速道路のPAは、『ほっと処(しよ)』に変わります」

PAーそこは、阪神高速道路のお客様をお迎えする場。だから、PAでも「先進の道路サービス」を提供します。
PAで私達が提供する「先進の道路サービス」ーそれは「きれい・あんしん」「やすらぎ」「ぬくもり」です

◆ 「きれい・あんしん」では・・・

- ・【トイレ】明るい色の床・壁・天井、洗浄便座の設置、洋式トイレ化、パウダーコーナーの設置、ベビーベッド・ベビーチェアの設置
- ・【駐車場】駐車マスの増設・幅拡大、駐車マスの二重線化、駐車マスのカラー舗装化、短時間優先駐車マスの設置
- ・【安心設備】防犯カメラ、AED、車椅子、緊急地震速報の設置

◆ 「やすらぎ」では・・・

- ・【空間】自然をモチーフ(朝潮橋PA)、緑の葉をデザイン、生花、観葉植物、写真(花など)、書の配置
- ・【フード】お客様の利用形態や地域特性に合わせたメニュー開発
- ・【その他】ベンチ、テレビを備えた喫煙室を設置(朝潮橋PA)、BGM

◆ 「ぬくもり」では・・・

- ・PAクルーの心得の策定(笑顔・挨拶・一声運動)、統一ユニフォームの製作、PAクルー会議の実施



▲パウダーコーナー



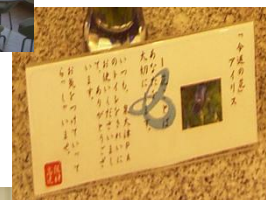
▲木目調内装



▲短時間優先駐車マス



▲くつろぎゾーン



▲トイレの生花(花言葉)



▲観葉植物と書



▲日めくり心得集

※上記は一部抜粋です

1. 経営成績

(3) 業績見通し(連結及び個別)



平成20年度連結業績見通し

連結業績の見通し

税引後当期純利益は、親会社の利益1億円に連結子会社5社の利益等3億円を加えた4億円(対前年度比25億円減)となる見通し。

単位:億円〔単位未満切り捨て〕

		H19実績	H20見通し	差引
		【A】	【B】	【B】-【A】
営業収益	高速道路事業	2,082	2,364	282
	うち料金収入等	1,845	1,926	80
	うち道路資産完成高	236	437	201
	関連事業	53	61	7
	計	2,135	2,425	290
営業利益	高速道路事業	31	12	▲ 19
	関連事業	3	5	1
	計	35	17	▲ 18
経常利益		38	7	▲ 31
当期純利益		29	4	▲ 25

※平成20年度の見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。
実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。



平成20年度個別業績見通し

個別業績の見通し

営業収益は2,410億円(対前年度比290億円増)、営業利益は13億円(対前年度比16億円減)、経常利益は2億円(対前年度比29億円減)、当期純利益は1億円(対前年度比23億円減)となる見通し。

単位:億円[単位未満切り捨て]

		H19実績	H20見通し	差引
		【A】	【B】	【B】-【A】
営業 収益	高速道路事業	2,071	2,354	282
	うち料金収入等	1,835	1,916	81
	うち道路資産完成高	236	437	201
	関連事業	48	56	8
計		2,120	2,410	290
営業 利益	高速道路事業	28	10	▲ 17
	関連事業	1	2	0
	計	29	13	▲ 16
経常利益		32	2	▲ 29
当期純利益		25	1	▲ 23

※平成20年度の見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。
実際の業績等については、様々な要因により変化することをご承知おき下さい。

2. 参考資料



グループ経営体制(全体イメージ)

【保全点検・維持修繕】

阪神高速技術(株)

【交通管理】

阪神高速パトロール(株)

阪神高速

【料金収受】

【関連事業】

阪神高速サービス(株)

阪神高速
トール大阪(株)

阪神高速
トール神戸(株)

阪神高速グループの概要 (1)

高速道路事業

道路事業子会社


【交通管理】 1社
 阪神高速パトロール(株)


【保全点検・維持修繕】 1社
 阪神高速技術(株)


【料金收受】 2社
 阪神高速トール大阪(株)
 阪神高速トール神戸(株)


関連事業子会社

【PA事業・駐車場事業等】 } 1社
 【人材派遣事業等】 }
 阪神高速サービス(株)

その他の事業


H18末	■ 連結子会社 2社	阪神高速技術(株) 阪神高速サービス(株)
H19中間末	■ 連結子会社 3社	阪神高速技術(株) 阪神高速サービス(株) 阪神高速パトロール(株)
H19末	■ 連結子会社 5社	阪神高速技術(株) 阪神高速サービス(株) 阪神高速パトロール(株) 阪神高速トール大阪(株) 阪神高速トール神戸(株)



阪神高速グループの概要 (2)

H18末

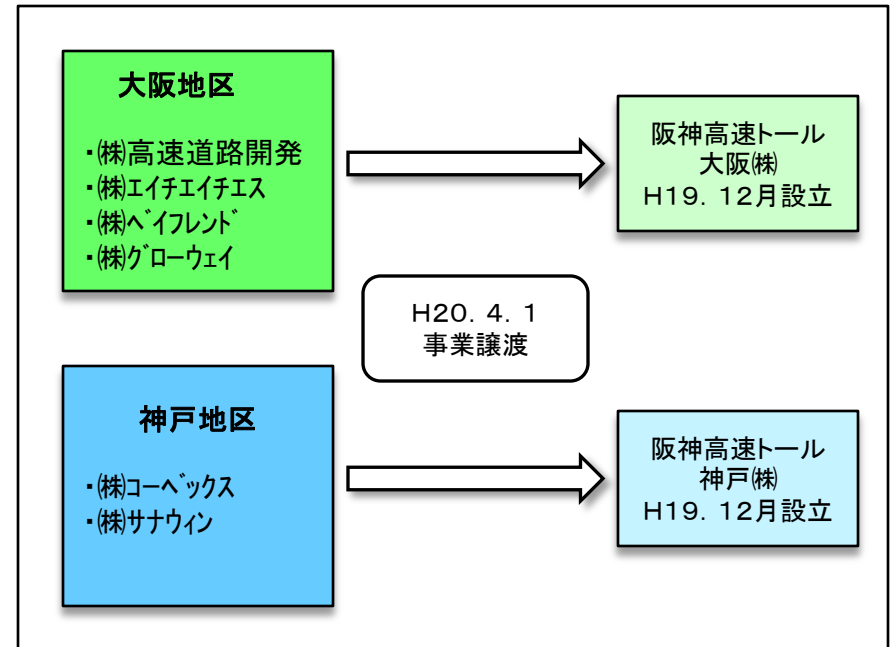
- 連結子会社 2社 阪神高速技術(株)
阪神高速サービス(株)

H19中間末

- 連結子会社 3社 阪神高速技術(株)
阪神高速サービス(株)
阪神高速パトロール(株)

H19末

- 連結子会社 5社 阪神高速技術(株)
阪神高速サービス(株)
阪神高速パトロール(株)
阪神高速トール大阪(株)
阪神高速トール神戸(株)





関係会社の状況

連結子会社 2008年3月31日現在

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業の内容	議決権の所有割合 (%)	関係内容
阪神高速サービス(株)	大阪市西区	40	高速道路事業 その他の事業	100	休憩所施設に係る業務を委託、駐車場施設を賃貸 設備の賃貸借 役員の兼任等
阪神高速技術(株)	大阪市中央区	20	高速道路事業	100	保全点検・維持修繕業務を委託 役員の兼任等
阪神高速パトロール(株)	大阪市西区	10	高速道路事業	100	交通管理業務を委託 役員の兼任等
阪神高速トール大阪(株)	大阪市西区	50	高速道路事業	100	料金收受業務を委託 役員の兼任等
阪神高速トール神戸(株)	神戸市中央区	50	高速道路事業	100	料金收受業務を委託 役員の兼任等

(注) 主要な事業の内容欄には、事業の種類別セグメントの名称を記載しております。

- ◆ 本資料には将来の予測や見通しに関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績等を保証するものではありません。将来の業績等は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意下さい。

お問い合わせは・・・

阪神高速道路株式会社 経理部財務グループ

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
telephone: 06-6252-8121(代)
facsimile: 06-6251-6930
URL: <http://www.hanshin-exp.co.jp>